



のりはどうしてべたべたしているの、どうしてくっつくの

べたべたした物がでん粉の中にある

米をたいご飯は、ねばりけがあり、べたべたしています。このべたべたした物は、いもや米にふくまれている、でん粉の中にあります。いもや米に水を入れて熱を加えると、べたべたした物ができます。

のりがべたべたしているのは、べたべたした物がのりの中に入っているからなのです。「やまとのり」は、米やいもの中にあるべたべたを利用して作ったのりです。

のりが物をつけるはたらき

のりが物をつけるはたらきについては、いろいろな考え方があります。のりで紙がつくのは、紙の繊維の中にのりが入りこんで、固まってしまうという考え方や、紙と紙との間にのりがはさまってすき間をなくし、それが、まわりの大気の力におされてくっついてしまう、という考え方などがあります。

ボンドなどのつき方

ボンドなどで物がつくときは、のりのときとちがいます。プラスチックがボンドなどでくっつくのは、プラスチックの表面をボンドなどの接着剤がとかしてしまい、とけた表面と接着剤が合体して、くっつくからです。（監修・小川 格）

